

日本・世界の経済

執筆 日本政策総研 主席エコノミスト 村井慎吾

(監修)北海道大学名誉教授 宮脇 淳

12月日本 景気ウォッチャー調査

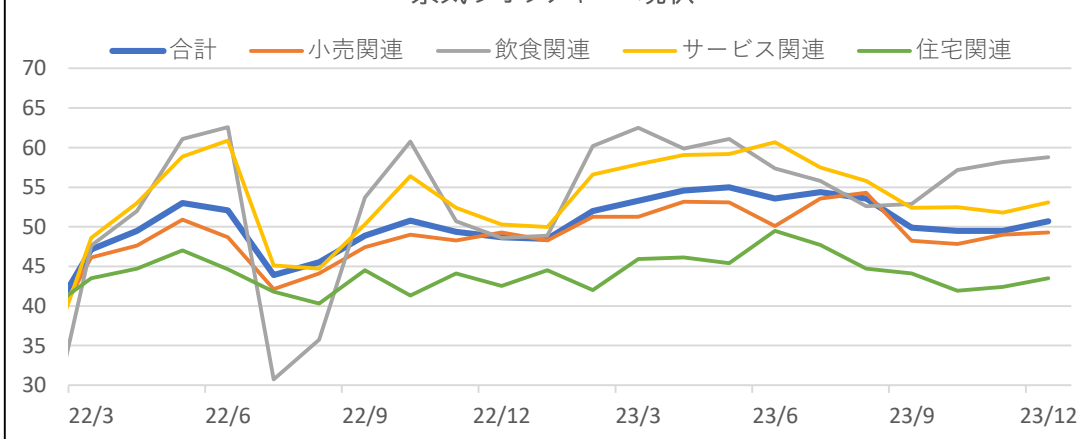
2024/1/15 第 82 号

朝日田コーポレーション

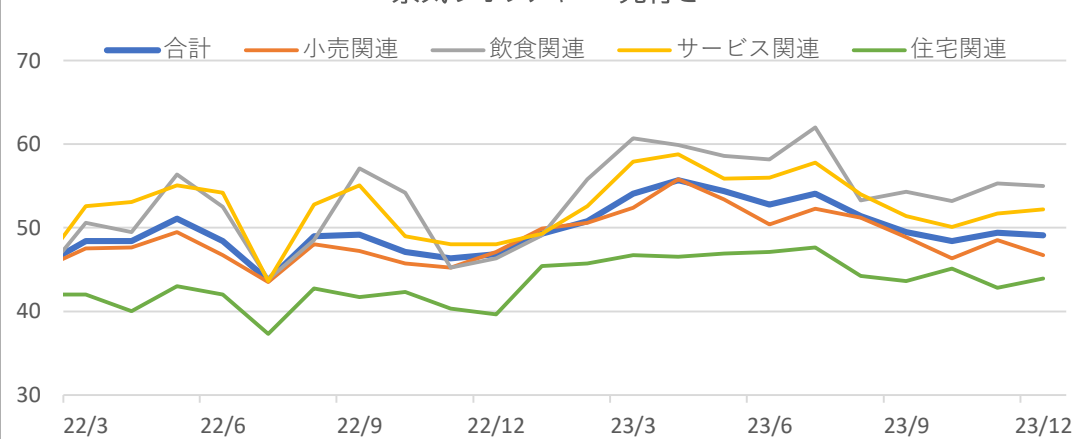
●メールアドレス: info@sapporo-php.co.jp

●ホームページ: <http://www.sapporo-php.co.jp>

<景気ウォッチャー 現状>



<景気ウォッチャー 先行き>



(資料)内閣府資料より作成。

街角景況感をあらわす景気ウォッチャー調査では、「現状判断」が50.7ポイントと5か月ぶりに改善するとともに、4か月ぶりに良し悪しの分かれ目である50ポイントを上回った。インバウンドの良好さを背景に飲食関連やサービス関連の景況感が高い水準を維持する一方、物価高等に苦しむ小売関連や、住宅関連は50ポイントを下回る水準での推移が継続した。

2~3か月後の景況感をあらわす「先行き判断」では、49.1ポイントと2か月ぶりの悪化に転じ、4か月連続での50ポイント割れとなった。現状と同様、飲食関連やサービス関連の景況感が高い水準を維持する一方、小売関連や住宅関連の見通しはスッキリとしない状況となっていた。

今後の国内景気は緩やかな拡大基調を継続すると見込むが、その内訳は濃淡があるものになる可能性が高い。